

**多義語**

一 次の  の中には多義語が入ります。当てはまるものを、後のア～クから選び、記号で答えなさい。

①  所から下を見下ろす。

この果物は、とても 。

② 相手チームに 。

二百円の品物を、百五十円に 。

③  アイスを食べる。

あの人は、友達に対してとても 。

④  人物を見かけた。

今日は少し雲行きが 。

⑤ 今日は満月なので、夜なのに 。  
彼は、このあたりの地理に 。

ア 切れる

イ 負ける

ウ 冷たい

エ うまい

オ 高い

カ 明るい

キ あやしい

ク 赤い

**対義語**

二  の中に漢字を書き、対義語を作りなさい。

① 単純

雑

② 具体

象

③ 偶然

然

類義語

三 の中に漢字を書き、類義語を作りなさい。

① 手段 ↓ 方

② 簡単 ↓ 容

③ 永久 ↓ 永

漢字チャレンジコーナー

①～④は——線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は——線部の漢字を楷書で書きましよう。

(⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。)

① 時間を浪費する。

② 元気よく挨拶する。

③ 思い出の場所を訪れる。

れる

④ 伝統文化の継承。

⑤ 新入生をかんげいする。

⑥ 新聞にのる。

⑦ くわしく説明する。

⑧ 時間におくれる。

熟語の構成

① 次の熟語の構成の説明として当てはまるものを、後のア～オから選び、記号で答えなさい。

① 曲線

② 思考

③ 開会

④ 正誤

ア 二つの漢字が似た意味の関係になっている。  
イ 二つの漢字が反対の意味の関係になっている。  
ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係になっている。  
エ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表す関係になっている。  
オ 上の漢字が主語で下の漢字が述語の関係になっている。

古文―歴史的仮名遣い

② 次の――線部を現代仮名遣いに直し、右横に平仮名で書きなさい。

① いとをかし

② やうやう 白くなりゆく 山ぎは

③ とびいそぐさへ あはれなり

## 文法―品詞の識別

三 次の――線部の品詞をへ へから選び、記号で答えなさい。

- ① ア 大きな夢をいだく。( )  
イ わたしの夢はとても大きい。( )  
へ a 形容詞 b 連体詞へ
- ② ア それはわたしの鉛筆です。( )  
イ その鉛筆はわたしのです。( )  
へ a 名詞 b 連体詞へ
- ③ ア またおいください。( )  
イ 彼は俳優であり、また音楽家でもある。( )  
へ a 副詞 b 接続詞へ

## 漢字チャレンジコーナー

①～④は――線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は――線部の漢字を楷書で書きましよう。  
⑤～⑧は送り仮名が必要な場合もあります。

- ① 旅の支度をする。  
② お寺の境内で遊ぶ。  
③ 職人の弟子になる。  
④ 類似した品に注意する。  
⑤ あわてて家を出た。  
⑥ じくがぶれない人。  
⑦ 空気がかんそうする。  
⑧ 学校にれんらくする。

--	--	--	--	--	--	--	--

**敬語**

一 次の会話の中には誤った敬語があります。その部分を抜き出し、正しい敬語に直しなさい。

生徒 「明日、家庭訪問で先生が参られるんですけど。」  
生徒の親 「あら、そう。いただくかどうかわからないけど、お茶をお出ししないといけないわね。」  
生徒 「特に何も出さなくていいと、先生は申されてたよ。家の様子を拝見されるのが目的だから。」

〈誤った敬語〉

〈正しい敬語〉

**書写—行書**

二 次の行書を、楷書で書きなさい。

〈行書〉

〈楷書〉

③	②	①
録	間	被
↓	↓	↓



文法—用言の活用

一 次の——線部の動詞の活用形を、後のア・イ・ウから選び、記号で答えなさい。

① 書かない

② 起きます

③ 食べれば

ア 未然形  
エ 連体形

イ 連用形  
オ 仮定形

ウ 終止形  
カ 命令形

同音異義語

二 次の文の——線部で使う漢字として正しいものをア・イから選び、記号で答えなさい。

① 国際情勢にかんしんがある。

ア 感心

イ 関心

② あなたの意見をしじします。

ア 支持

イ 指示

③ 絶好のきかいを逃すわけにはいかない。

ア 機会

イ 機械

同訓異字

三 次の文の——線部で使う漢字として正しいものをア・イから選び、記号で答えなさい。

① 何人も人権をおかすことはできない。

ア 冒

イ 侵

② 数学の問題をとく。

ア 解

イ 説

③ 緊張して会議にのぞむ。

ア 望

イ 臨

漢字チャレンジコーナー

①～④は——線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は——線部の漢字を楷書で書きましよう。

① 無理を強いられる。

いられる

② 軽やかな足取り。

やか

③ 争いが頻発する。

④ 漆黒の闇。

⑤ 世界せいふくをたくらむ。

⑥ 野菜をさいばいする。

⑦ 権利をほうきする。

⑧ 機材をほんにゆうする。

--	--	--	--	--	--	--	--



文法―文の成分

一 次の――線部の修飾語が修飾している文節を抜き出し、に書きなさい。

① 母は、会社に出かけた。

② 彼は、有名な学者だ。

③ わたしは、ゆっくり顔を上げた。

文法―助詞

二 次の――線部の助詞「の」の働きとして当てはまるものを、後のア～ウから選び、記号で答えなさい。

① 子供は社会の宝だ。

② 姉のつくったケーキはおいしい。

③ このノートは僕のだ。

- ア 主語を作る
- イ 連体修飾語を作る
- ウ 体言の代用

# 文法―助動詞

三 次の――線部の助動詞「れる・られる」の意味として当てはまるものを、後のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ① 先生にほめられる。
  - ② 昔の姿がしのばれる。
  - ③ 賞味期限前なので、まだ食べられる。
- 

ア 受け身	イ 可能	ウ 自発
		エ 尊敬

# 漢字チャレンジコーナー

①～④は――線部の読み方を平仮名で、⑤～⑧は――線部の漢字を楷書で書きましよう。  
(⑤～⑧は送り仮名が必要な場合があります。)

- ① 恩に報いる。
  - ② 真紅のバラの花。
  - ③ 敵を欺く。
  - ④ 祝宴の席を調える。
  - ⑤ ひとじちを救出する。
  - ⑥ 紅茶のおいしいきつさてん。
  - ⑦ うちの犬はとてもかしこい。
  - ⑧ 疑いを差しはさむ。
- 
- いる                      える                      く                      いる